

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-53	高等学校	情報	情報セキュリティ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	情報 704	情報セキュリティ		

## 1. 編修の基本方針

(1) 構成・配列は基本的に学習指導要領の構成・配列によったが、次の点で編修上の配慮を行った。

- ・具体的な情報セキュリティに関する事例や対策を理解したうえで情報セキュリティに関する法規やガイドラインを学ぶことで、これらを活用し遵守する態度が養えるよう、学習指導要領の(2)「情報セキュリティと法規」を(3)「情報セキュリティ対策」の後に置いた。
- ・(2)イ「情報セキュリティ関連ガイドライン」は、リスク管理や情報セキュリティポリシーとの関連性を考え、(4)「情報セキュリティマネジメント」と合わせて解説した。
- ・(3)「情報セキュリティ対策」は、学習者が内容をイメージしやすいよう、ウ「物理的セキュリティ対策」、イ「技術的セキュリティ対策」、ア「人的セキュリティ対策」の順に配置した。
- ・(4)「情報セキュリティマネジメント」は、情報資産に対する脅威とリスクの管理について理解したうえで、セキュリティ対策の方針や事業継続計画が策定できるよう、イ「リスク管理」、ア「情報セキュリティポリシー」、ウ「事業継続」の順に配置した。

(2) 基礎的・基本的な知識を定着させるねらいから、節のまとめとなる問題を節末問題として配置し、章全体にかかわる問題を章末問題として配置した。

(3) 学習者の興味関心を高めるため、第1章1節「量子コンピュータと暗号」、第3章3節「地図情報サービスの画像とプライバシー」のように、学習内容に関連したコラムを適宜掲載した。

(4) 学習者が具体的な事例をもとに学べるよう、第2章2節「RSA暗号方式の暗号化の手順」や第4章1節「リスク値の算出」のように、必要に応じて例題を用いて解説を行った。

(5) 見返し1～2では、本文内容を補助するねらいから、スマートフォンやWebサイトで使われる各種の認証を紹介した。

(6) 見返し3では、本文内容を補助するねらいから、セキュリティエリアの個人認証設備を紹介した。

- (7) 見返し4では、本文内容を補足するねらいから、事業継続計画(BCP)の役割を紹介した。
- (8) 見返し5～6では、本文内容を補足するねらいから、重要インフラ事業者等の対策例と各対策に関連する国の施策例(PDCAサイクル)を紹介した。
- (9) 学習上の便宜を図るため、巻末に「重要法規(抜粋)」および「重要用語のまとめ」を掲載した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 情報社会と 情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報社会における脅威を、デジタル的な面に留まらず、社会全体に広げて取り扱い、情報セキュリティ人材としてどのように社会形成に参画できるか考えられるよう配慮した(第3号)。</li> <li>・ 情報セキュリティの管理を支援する情報技術者に求められる資質と役割を取り上げ、情報セキュリティを担う技術者として就労する際の心構えを養えるよう配慮した(第2号)。</li> </ul>	<p>p.6～11</p> <p>p.27～30</p>
第2章 情報セキュリティ 対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報セキュリティ対策について、物理的対策、技術的対策、人的対策のそれぞれに対して具体的な事例を取りあげ、情報セキュリティに関する幅広い知識を身に付けられるよう配慮した(第1号)。</li> <li>・ 情報資産に対する脅威は人だけでなく、地震や落雷、洪水などの自然災害も含まれることを取り上げ、自然や環境への意識を高められるよう配慮した(第4号)。</li> </ul>	<p>p.34～p.44, p.46～p.72, p.74～p.84</p> <p>p.38</p>
第3章 情報セキュリティと 法規	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報セキュリティに関連する法規について、日本国憲法をはじめとした国内法規を中心に取り上げた(第5号)。</li> <li>・ プライバシーの概念や個人情報の保護について丁寧に解説し、自他の敬愛を重んじることができるよう配慮した(第3号)。</li> </ul>	<p>p.88～101, p.124～127</p> <p>p.102～111</p>
第4章 情報セキュリティ マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リスクの考え方やリスク対応などを取り上げ、リスクリスクマネジメントに必要な知識を幅広く身に付けられるように配慮した(第1号)。</li> <li>・ 情報セキュリティポリシーの策定および評価と改善に必要な内容を具体的な事例を交えて取り上げ、幅広い知識を身に付けられるよう配慮した(第1号)。</li> <li>・ 事業継続計画に関して、具体的な事例を取り上げることで、自主及び自律の精神を養えるよう配慮した(第2号)。</li> </ul>	<p>p.130～143</p> <p>p.146～158</p> <p>p.161～163</p>

## 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-53	高等学校	情報	情報セキュリティ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	情報 704	情報セキュリティ		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

専門教科情報の共通的分野の科目であることに加え、各項目に対して具体的なイメージを持って学習できるよう、全体を通して図や写真、イラストを用いて丁寧に説明した。また、各項目については、相互に関連を図ることができるよう関連ページを付記した。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1章1節 情報セキュリティの 現状	(1)ア 情報セキュリティの 現状	p.6～p.22	8
1章2節 情報セキュリティの 必要性	(1)イ 情報セキュリティの 必要性	p.24～p.30	3
2章1節 物理的セキュリティ 対策	(3)ウ 物理的セキュリティ 対策	p.34～p.44	8
2章2節 技術的セキュリティ 対策	(3)イ 技術的セキュリティ 対策	p.46～p.72	16
2章3節 人的セキュリティ 対策	(3)ア 人的セキュリティ 対策	p.74～p.84	5
3章1節 総論	(2)ア 情報セキュリティ 関連法規	p.88～p.91	1
3章2節 刑事法	(2)ア 情報セキュリティ 関連法規	p.92～p.101	4
3章3節 プライバシーと 個人情報	(2)ア 情報セキュリティ 関連法規	p.102～p.111	4
3章4節 知的財産権	(2)ア 情報セキュリティ 関連法規	p.112～p.122	5
3章5節 その他の法律	(2)ア 情報セキュリティ 関連法規	p.124～p.127	1

4章1節 リスクマネジメント	(4)イ リスク管理  (2)イ 情報セキュリティ 関連ガイドライン	p.130～p.134, p.139～p.144  p.135～p.138	7
4章2節 情報セキュリティ ポリシー	(4)ア 情報セキュリティ ポリシー  (2)イ 情報セキュリティ 関連ガイドライン	p.146～p.153, p.155～p.158  p.147, p.153, p.154	6
4章3節 事業継続	(4)ウ 事業継続	p.160～p.164	2
計			70